



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社

コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 久雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 金原 利道

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,558	2.8	901	△2.6	1,034	△10.6	258	△22.6
26年3月期第2四半期	19,031	10.7	926	7.1	1,156	26.7	333	△22.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 400百万円 (△83.6%) 26年3月期第2四半期 2,445百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8.94	—
26年3月期第2四半期	11.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年3月期第2四半期	51,861		29,432		44.5
26年3月期	51,248		29,196		45.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 23,076百万円 26年3月期 23,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	5.00	—	5.00	円 銭	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,600	1.6	2,300	98.0	2,700	64.9	850	341.7	29.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	28,978,860 株	26年3月期	28,978,860 株
27年3月期2Q	92,056 株	26年3月期	91,770 株
27年3月期2Q	28,886,888 株	26年3月期2Q	28,887,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
4. 参考情報	P. 13
(1) 所在地別セグメント	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響はあったものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど景気は緩やかに回復しました。先行きについても、海外景気下振れリスクなどが懸念されるものの回復基調が続くことが期待されます。一方、世界経済は、欧州、中国やその他新興国の先行きに留意する必要があるものの、全体としては緩やかな回復が続いております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響等により低調となりました。海外市場では中国における需要拡大や米国の回復などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とし、新たに“構造改革を成功させ、利益革新に挑む”という経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績としましては、国内事業は、四輪車用エンジンバルブの受注減が影響し前年同期に比べ減収となりました。海外事業は、中国における生産拡大やベトナム子会社の量産開始に伴い堅調な推移となりました。この結果、売上高は、195億58百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

損益面につきましては、国内、東南アジアにおける小型エンジンバルブ事業の減益により、営業利益9億1百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益10億34百万円(前年同期比10.6%減)となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券の一部売却をしたことに伴い投資有価証券売却損を特別損失に計上したことなどにより、2億58百万円(前年同期比22.6%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、インドにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンインディアテック Pvt. Ltd.および当社のグローバル展開のマネジメントを担う子会社であるニッタン・グローバル・テック株式会社の2社を新たに連結しております。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

## &lt;小型エンジンバルブ&gt;

国内事業では、四輪車用エンジンバルブは、軽自動車用製品の受注減および一部製品の海外移管により減収となりました。二輪車用エンジンバルブは、一部製品の海外移管により減収となりました。海外事業においては、アジア地域では、東南アジアにおける為替の円高影響はあったものの、中国における四輪車用製品の新規立ち上がり等により増収となりました。北米地域では、受注量は横ばいであったものの為替換算の円安効果により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、中国の好調、北米の回復による増益要因はあったものの、国内の受注減や東南アジアのコスト増加により減益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、インドにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンインディアテック Pvt. Ltd.を新たに連結しております。

この結果、当セグメントの売上高は、152億96百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、6億27百万円(前年同期比14.7%減)となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### <船用部品>

船用関連製品につきましては、受注環境が徐々に好転してきていることから組付部品・補給部品が増加し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、15億1百万円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、1億46百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

#### <可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、中国向け製品の受注増により増収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、アジア地域向け自動車用製品の受注減により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、20億90百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億40百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

#### <その他>

バルブリフターにつきましては、中国向け製品の受注減により減収となりました。

工作機械につきましては、海外事業での新規立ち上がりや生産ライン増設に伴うグループ内部での取引が増加し増収となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社のグローバル展開のマネジメントを担う子会社であるニッタン・グローバル・テック株式会社を新たに連結しております。

この結果、当セグメントの売上高は、22億35百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、27百万円（前年同期比75.1%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、518億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億12百万円の増加となりました。

資産の部の流動資産は、182億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億85百万円の減少となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が4億95百万円増加しましたが、現金及び預金が6億71百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、335億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億97百万円の増加となりました。この主な要因は前連結会計年度まで非連結子会社であった2社を重要性が増したため連結子会社としたことなどにより投資有価証券が7億14百万円減少しましたが、連結子会社の増加及び設備投資により機械装置及び運搬具（純額）が8億1百万円、建設仮勘定が7億45百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、119億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億4百万円の減少となりました。この主な要因は短期借入金が8億14百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が9億60百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、104億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億80百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産の部では、294億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億35百万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が3億79百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が4億15百万円、少数株主持分が2億7百万円増加したことなどによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、42億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億71百万円の減少となりました。

営業活動より得られた資金は、前年同四半期に比べ1億2百万円増加し7億32百万円となりました。この主な要因は、法人税等の支払額が69百万円減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ57百万円増加し30億74百万円となりました。この主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出が1億50百万円減少しましたが、貸付金の回収による収入が1億67百万円減少したことによるものです。

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ9億11百万円減少し12億32百万円となりました。この主な要因は短期借入金の増減額が6億28百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想は、当第2四半期の実績と今後の受注動向から修正をしております。詳細につきましては、平成26年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したニッタンインディアテックPvt. Ltd. 及びニッタン・グローバル・テック株式会社を連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ○法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が122,156千円増加し、利益剰余金が122,156千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,951,972	4,280,024
受取手形及び売掛金	6,496,109	6,991,826
商品及び製品	2,429,747	2,219,116
仕掛品	1,276,745	1,156,224
原材料及び貯蔵品	2,215,847	2,525,099
繰延税金資産	329,871	322,415
その他	760,547	780,859
貸倒引当金	△2,358	△2,271
流動資産合計	18,458,483	18,273,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,483,504	5,409,914
機械装置及び運搬具(純額)	10,606,375	11,407,525
土地	1,333,330	1,327,396
建設仮勘定	3,621,709	4,367,183
その他(純額)	502,800	537,697
有形固定資産合計	21,547,720	23,049,716
無形固定資産		
のれん	101,310	51,962
その他	616,332	647,123
無形固定資産合計	717,643	699,086
投資その他の資産		
投資有価証券	9,908,607	9,193,914
出資金	940	940
長期貸付金	58,736	68,582
繰延税金資産	356,805	345,477
その他	206,884	243,166
貸倒引当金	△6,876	△12,430
投資その他の資産合計	10,525,097	9,839,650
固定資産合計	32,790,461	33,588,453
資産合計	51,248,944	51,861,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,606,756	3,646,108
短期借入金	3,981,590	4,796,493
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	197,771	177,845
繰延税金負債	642,460	706,355
賞与引当金	330,566	360,895
役員賞与引当金	52,200	—
その他	2,549,301	2,168,787
流動負債合計	12,500,646	11,996,486
固定負債		
社債	860,000	790,000
長期未払金	11,100	11,100
長期借入金	3,320,959	3,916,588
繰延税金負債	2,178,356	2,393,066
退職給付に係る負債	2,913,843	3,098,535
その他	267,075	223,011
固定負債合計	9,551,335	10,432,301
負債合計	22,051,981	22,428,788
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,941	4,506,941
利益剰余金	11,396,156	11,372,752
自己株式	△45,605	△45,694
株主資本合計	20,388,035	20,364,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,458,836	3,873,941
為替換算調整勘定	△469,119	△848,380
退職給付に係る調整累計額	△329,916	△313,738
その他の包括利益累計額合計	2,659,800	2,711,821
少数株主持分	6,149,127	6,356,595
純資産合計	29,196,963	29,432,959
負債純資産合計	51,248,944	51,861,747

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	19,031,511	19,558,866
売上原価	16,382,823	17,039,898
売上総利益	2,648,687	2,518,968
販売費及び一般管理費	1,722,673	1,617,118
営業利益	926,014	901,849
営業外収益		
受取利息	11,449	28,164
受取配当金	74,652	92,006
持分法による投資利益	84,536	159,550
為替差益	96,814	-
雑収入	32,663	31,579
営業外収益合計	300,116	311,301
営業外費用		
支払利息	57,475	82,848
為替差損	-	52,813
雑損失	11,928	43,223
営業外費用合計	69,403	178,885
経常利益	1,156,727	1,034,265
特別利益		
固定資産売却益	790	2,303
特別利益合計	790	2,303
特別損失		
固定資産売却損	152	16
固定資産除却損	6,914	2,961
減損損失	48,774	-
投資有価証券売却損	-	89,985
特別損失合計	55,840	92,963
税金等調整前四半期純利益	1,101,676	943,605
法人税等	459,359	363,563
少数株主損益調整前四半期純利益	642,317	580,041
少数株主利益	308,714	321,677
四半期純利益	333,602	258,364

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	642,317	580,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	488,764	415,129
繰延ヘッジ損益	△10,439	—
為替換算調整勘定	1,243,639	△612,890
退職給付に係る調整額	—	16,853
持分法適用会社に対する持分相当額	81,650	1,689
その他の包括利益合計	1,803,614	△179,217
四半期包括利益	2,445,931	400,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,567,778	308,016
少数株主に係る四半期包括利益	878,153	92,807

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,101,676	943,605
減価償却費	1,427,931	1,477,782
減損損失	48,774	-
のれん償却額	176,049	44,539
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△107,189	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	89,509
受取利息及び受取配当金	△86,101	△120,171
支払利息	57,475	82,848
持分法による投資損益(△は益)	△84,536	△159,550
投資有価証券売却損益(△は益)	-	89,985
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	6,276	674
売上債権の増減額(△は増加)	△116,000	△475,834
たな卸資産の増減額(△は増加)	△129,076	△77,645
仕入債務の増減額(△は減少)	△528,396	△867,417
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,426	△33,996
その他	△822,553	5,203
小計	981,755	999,532
利息及び配当金の受取額	86,101	120,370
利息の支払額	△51,693	△70,790
法人税等の支払額	△386,745	△316,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	629,417	732,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,174,496	△3,024,350
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,958	1,905
投資有価証券の取得による支出	△2,865	△4,141
貸付けによる支出	△14,469	△15,780
貸付金の回収による収入	173,044	5,749
その他	△9	△37,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,016,837	△3,074,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,087,753	459,000
長期借入れによる収入	1,511,905	1,494,763
長期借入金の返済による支出	△328,000	△375,620
社債の償還による支出	-	△70,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20,699	△19,004
少数株主からの払込みによる収入	233,127	249,860
自己株式の取得による支出	△77	△89
配当金の支払額	△115,748	△144,450
少数株主への配当金の支払額	△224,334	△361,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,143,926	1,232,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	179,426	△158,433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64,067	△1,267,396
現金及び現金同等物の期首残高	3,213,814	4,951,972
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	490,860	595,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,640,608	4,280,024

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	14,709,737	1,360,396	2,224,126	18,294,260	737,250	19,031,511	—	19,031,511
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	57	—	—	57	1,157,639	1,157,697	△1,157,697	—
計	14,709,794	1,360,396	2,224,126	18,294,317	1,894,890	20,189,208	△1,157,697	19,031,511
セグメント利益	736,003	123,220	143,307	1,002,531	110,984	1,113,516	△187,502	926,014

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△187,502千円は、セグメント間取引消去△72,344千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△115,158千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	小型 エンジン バルブ	舶用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	15,243,853	1,501,904	2,090,985	18,836,742	722,124	19,558,866	—	19,558,866
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	52,431	—	—	52,431	1,513,401	1,565,833	△1,565,833	—
計	15,296,285	1,501,904	2,090,985	18,889,174	2,235,525	21,124,700	△1,565,833	19,558,866
セグメント利益	627,451	146,241	140,424	914,117	27,659	941,777	△39,928	901,849

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△39,928千円は、セグメント間取引消去62,221千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△102,149千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、当該変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## 4. 参考情報

## (1) 所在地別セグメント

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,520,064	4,790,142	4,366,212	355,091	19,031,511	—	19,031,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,492,191	260,458	69,884	20,036	1,842,570	△1,842,570	—
計	11,012,255	5,050,601	4,436,097	375,128	20,874,082	△1,842,570	19,031,511
営業利益又は 営業損失(△)	304,450	984,233	△108,754	△79,726	1,100,202	△174,188	926,014

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国、ベトナム  
 北米…アメリカ  
 欧州…ポーランド

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,714,801	5,914,545	4,496,614	432,905	19,558,866	—	19,558,866
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,750,950	102,912	52,783	10,438	1,917,086	△1,917,086	—
計	10,465,752	6,017,458	4,549,397	443,343	21,475,953	△1,917,086	19,558,866
営業利益又は 営業損失(△)	127,373	920,351	4,231	△82,211	969,745	△67,895	901,849

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国、ベトナム、インド  
 北米…アメリカ  
 欧州…ポーランド